

# 障害児のダンス作品における 即興的表現を含む構成の効果

佐分利 育代

## [はじめに]

グループで空間を共有してのダンスの即興表現は、個人の内的イメージの媒体としての動きを越えて、思いがけない動きやそれに伴う新たな内的体験を与える。M・フロスティグは、創造的運動の価値は、「自己と環境との同時的意識の発達に役立ち、イメージをふくらませることを通じて意識、知覚、記憶、感情、思考、行動の各レベルを統合する<sup>1)</sup>」ところにあるとし、特に、内気な子ども、知覚に欠損のある子ども、学習困難な子ども、精神遅滞児に役立つと述べている。そして、子どもは各自様々な動作を試みるべきであり、どの子も自分の好む動作を選ぶべきであり、一人で、パートナーと、またグループで動くことを学ばなければならないとしている。

障害児の体育について石井は、「同年齢や異年齢の大集団での体育的内容の授業参加は欠かすことのできない重要な内容である。そこでは、互いに社会性を磨きあい、その時はできなくても、次の段階へ発達していく可能性の芽が必ず用意されている<sup>2)</sup>」としているがダンスでは自己の最大の力を発揮しながら様々な能力の子どもが一緒に学習することができる。

今回、知的障害を持つ生徒、聴覚障害を持つ生徒、障害を持たない大学生のダンスの交流学习で、即興的に踊る場面を入れて構成した作品「冬へ」を創り発表したところ、様々な生徒の個性と表現技能の発揮が見られたので報告したい。

## [方法]

交流学习での合同作品の、2回の上演のビデオテープより、即興的に踊られた部分の表現の媒体としての動きの特徴を検討する。

〈学習者〉 H養護学校高等部生徒14人(男子3, 女子11) T聾学校中・高等部生徒7人(女子7) T大学生8人(男子5, 女子3)

## 〈作品構成〉

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. 遊びの幻想・冬の始まり  | 大学       |
| 2. 雪起こしから激しい風雪  | 大学・聾学校   |
| 3. キラキラ光る雪、積もる雪 | 養護学校・聾学校 |
| 4. 雪遊び1・雪の中で    | T聾学校     |
| 5. 雪遊び2・雪合戦     | 全員       |
| 6. 凍った世界・雪の結晶   | 全員       |

構成の内3と5, 6が即興的に踊られた。3と5は、養護学校生の作品を中心に聾学校、大学生が参加して踊った。3では、養護学校の生徒の踊

りの間を、聾学校の生徒が即興的に踊った。5は雪合戦を白いTシャツを投げ合うことで表現した。

6では、①男子学生の冷気の動きで全員が凍って固まる、②「解けるっ」で全員が解ける、③「集まれっ」で雪の結晶をつくる、の3場面を約束した。

3と5の養護学校生の登場には音楽のきっかけを使い、2での聾学校の生徒の登場は先に踊っている大学生の動きをきっかけとした。

## 〈発表会〉

1. 1995年12月9日 鳥取市民会館
2. 1996年3月1日 H養護学校3年生を送る会(養護学校生と学生のみ参加)

## [結果]

〈発表会1〉 場面3では、養護学校は主として4グループで、聾学校の生徒はその間を特に空間全体のバランスを取るようにながら踊った。

聾学校の生徒の「降る雪」では、動きの形態はほぼ共通していたが、腕の動きのアクセント、足の動きとの関連から感じとれるリズムが7人それぞれ異なっていた。動きを決めなかったことにより、それぞれのもつリズムで3場面の養護学校生との表現を踊ることができたと言える。

場面5では、Tシャツを後ろ向きで投げる、広範囲を動きながら違う相手を見つけて投げる、投げられたTシャツを取ることができる、Tシャツが無くても雪投げを表現できる等、生徒によって様々な運動がみられた。

場面6では、大学生の動きや言葉に対応して、養護学校の生徒も即興的に動くことができた。固まり方や解け方を、練習、発表会とそれぞれ新たに工夫して動いた。練習では一度も解ける表現に参加せず固まったままだった生徒が発表会で初めて解ける表現をした。

〈発表会2〉 養護学校ではさらに5回の学習(4回目は大学生との合同学習)を行い発表会2を行った。場面3は、音楽の長さを同じにして即興練習を行った。練習を通して動きの語彙が増したが発表会2では、友だちと様々な関係を体験しながらも、動きの整理や高まりが見られ、一人やグループで「始め」と「なか」と「終わり」のあるまとまりの感じられる表現や、繰り返しと流れの感じられる表現を行っていた。

## [おわりに]

作品の構成の中にある即興的な表現の許された部分では、聴覚障害児は自由なリズムで踊り、知的障害児は学習を通して心的な体験の深まりの現れといえる表現技能の高まりが見られた。

## 文 献

- 1) マリアヌ・フロスティグ ムーブメント教育—理論と実際—肥田野他訳 日本文化科学社 1978 pp.57
- 2) 石井詩都夫 生きる力・学ぶ力を伸ばす障害児の体育授業 学校体育 第45巻第10号 1992 pp.11